



## 平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月1日

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 7965 URL http://www.zojirushi.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 市川典男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 真田 修 (TEL) 06-6356-2368  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月4日 配当支払開始予定日 平成25年8月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年11月21日～平成25年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	35,859	3.0	1,777	△38.1	2,268	△16.8	1,487	△59.1
24年11月期第2四半期	34,827	5.3	2,871	△4.0	2,727	△6.1	3,641	108.4

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 4,040百万円(△2.8%) 24年11月期第2四半期 4,156百万円(109.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	22.01	—
24年11月期第2四半期	53.87	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第2四半期	66,602	48,122	71.5
24年11月期	63,786	44,461	69.0

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 47,633百万円 24年11月期 43,990百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	3.50	—	4.50	8.00
25年11月期	—	4.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年11月21日～平成25年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	4.9	2,300	△34.3	2,700	△22.1	1,700	△58.3	25.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期2Q	72,600,000株	24年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	5,011,273株	24年11月期	5,006,793株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期2Q	67,591,584株	24年11月期2Q	67,595,728株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 所在地別業績	11
(2) 海外売上高	11
(3) 生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、円安等に伴い輸出環境の一部に持ち直しの動きが見られ、経済政策への期待感を背景に株価が上昇するなど、緩やかに回復傾向となりました。しかしながら、欧州債務危機の長期化や新興国への輸出の減少をはじめとする世界経済の減速が景気を押し下げるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社は、好みの味が選べ1杯のコーヒーが手軽に短時間で抽出できるカフェポッド専用コーヒーマーカーを発売するとともに、ステンレスマグやステンレスクールボトルのモデルチェンジを実施したほか、既存商品の販売にも注力いたしました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては羽釜形状の内釜を採用した「極め羽釜」シリーズの販売が好調に推移し、IH炊飯ジャーも前年実績を上回るなど炊飯ジャー全体の売上が前年に比べて増加いたしました。電気ポットは省エネタイプのVE電気まほうびんが前年実績を上回ったものの、ほぼ前年並みの売上となりました。また、電気ケトルは販売競争激化の影響もあり低調に推移いたしました。電気調理器具では、コーヒーマーカーやもちつき機、ミキサーが前年実績を上回りました。しかしながら、ホームベーカリーが市場全体の出荷数量が減少したことなどにより低調に推移し、グリルなべや精米機も前年実績を下回りました。

海外においては、中国市場ではIH炊飯ジャー、マイコン炊飯ジャーの売上が好調に推移し、北米、台湾でも炊飯ジャーの売上が前年実績を上回りました。その結果、調理家電製品の売上高は268億10百万円（前年同期比100.4%）となりました。

リビング製品につきましては、国内においては、市場全体の出荷数量が増加しているステンレスマグや商品ラインアップを強化したステンレスクールボトルを中心に売上が増加いたしました。また、国内市場の拡大を背景にステンレスフードジャーの売上が好調に推移し、ステンレスマホービン全体でも前年実績を上回りました。ガラスマホービンについては、国内における市場全体の出荷数量が減少したこともあり、低調に推移いたしました。

海外においては、北米市場では、大型の業務用コーヒーマシンやステンレスランチジャーが前年実績を上回りました。また、台湾、中国においてはステンレスマグやステンレスフードジャーを中心に好調に推移いたしました。その結果、リビング製品の売上高は76億14百万円（前年同期比120.5%）となりました。

生活家電製品につきましては、空気清浄機は花粉飛散量の増加などを背景に市場全体の出荷数量が増加したことにより、前年実績を上回りました。加湿器は新製品の投入効果もあり、前年に比べて売上が増加いたしました。しかしながら、食器洗い乾燥機は販売を終了したため前年実績を大幅に下回りました。その結果、生活家電製品の売上高は10億63百万円（前年同期比93.0%）となりました。また、その他製品の売上高は3億70百万円（前年同期比56.7%）となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、358億59百万円（前年同期比103.0%）となりました。利益につきましては、売上高は増加したものの、前年同期に比べて円安で推移したことによる海外生産品の原価上昇、国内における販売競争激化に伴う販売価格下落の影響などによる売上総利益率の低下に加え、品質保証に伴う支出に備えるため製品保証引当金を計上したことなどから前年同期に比べて販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は17億77百万円（前年同期比61.9%）となりました。経常利益は円安による為替差益の計上などによる営業外損益の改善もあり、22億68百万円（前年同期比83.2%）となりました。また、四半期純利益は前年同期に計上した厚生年金基金代行返上益がなくなったことも影響し、14億87百万円（前年同期比40.9%）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が28億16百万円増加し、負債が8億44百万円減少いたしました。また、純資産は36億61百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は2.5ポイント増加し71.5%となりました。

総資産の増加28億16百万円は、流動資産の増加16億5百万円及び固定資産の増加12億10百万円によるものであります。

流動資産の増加16億5百万円の主なものは、現金及び預金の増加45億67百万円、受取手形及び売掛金の減少6億36百万円、商品及び製品の減少21億38百万円であります。また、固定資産の増加12億10百万円の主なものは、投資有価証券の増加11億27百万円、繰延税金資産の減少2億86百万円、投資その他の資産のその他の増加3億93百万円であります。

負債の減少8億44百万円は、流動負債の減少9億63百万円及び固定負債の増加1億18百万円によるものであります。

流動負債の減少9億63百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少8億65百万円、未払法人税等の増加3億7百万円、流動負債のその他の減少3億29百万円であります。また、固定負債の増加1億18百万円の主なものは、繰延税金負債の増加2億79百万円、固定負債のその他の減少1億39百万円であります。

純資産の増加36億61百万円の主なものは、四半期純利益の計上14億87百万円、剰余金の配当の支払3億4百万円、その他有価証券評価差額金の増加8億38百万円、為替換算調整勘定の増加12億2百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績の状況を踏まえ、平成25年3月25日に公表いたしました業績予想について、下記のとおり修正を行うものであります。

なお、今回の業績予想で前提としております為替レートは、1ドル=95円であります。

<通期連結業績予想>

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	66,000	2,000	2,400	1,500	22.19
今回予想 (B)	66,000	2,300	2,700	1,700	25.15
増減額 (B - A)	0	300	300	200	—
増減率 (%)	0.0	15.0	12.5	13.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年11月期)	62,941	3,500	3,465	4,079	60.35

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年11月21日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(製品保証引当金)

第1四半期連結会計期間より、製品の品質保証に伴う支出に備えるため、過去の実績に基づいて今後必要と見込まれる額を製品保証引当金として計上しております。

当社では、従来、製品の品質保証に伴う支出について、発生時に費用として処理しておりましたが、製品保証費用の重要性が増してきたこと及び将来見込まれる品質保証費用の合理的な算定が可能となったことから、第1四半期連結会計期間より計上することといたしました。

これにより、従来の方法によった場合に比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ238百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,225	16,792
受取手形及び売掛金	11,211	10,574
商品及び製品	14,474	12,336
仕掛品	121	120
原材料及び貯蔵品	1,003	980
繰延税金資産	1,059	771
その他	2,220	2,341
貸倒引当金	△25	△22
流動資産合計	42,290	43,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,338	16,160
減価償却累計額	△12,554	△12,493
建物及び構築物(純額)	3,784	3,667
機械装置及び運搬具	3,390	3,557
減価償却累計額	△2,878	△3,071
機械装置及び運搬具(純額)	512	486
工具、器具及び備品	4,320	4,594
減価償却累計額	△3,283	△3,507
工具、器具及び備品(純額)	1,037	1,087
土地	8,752	8,752
リース資産	900	725
減価償却累計額	△649	△602
リース資産(純額)	251	122
建設仮勘定	45	27
有形固定資産合計	14,382	14,144
無形固定資産		
のれん	25	8
ソフトウェア	335	517
その他	217	267
無形固定資産合計	578	792
投資その他の資産		
投資有価証券	5,556	6,683
繰延税金資産	405	118
その他	589	982
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	6,535	7,770
固定資産合計	21,496	22,707
資産合計	63,786	66,602

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,156	6,290
短期借入金	210	136
未払費用	4,113	3,857
未払法人税等	318	626
賞与引当金	856	873
製品保証引当金	—	238
その他	920	590
流動負債合計	13,576	12,613
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
繰延税金負債	8	288
退職給付引当金	2,207	2,186
その他	532	392
固定負債合計	5,749	5,867
負債合計	19,325	18,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,163	4,163
利益剰余金	37,682	38,865
自己株式	△952	△954
株主資本合計	44,916	46,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	721	1,560
繰延ヘッジ損益	△38	381
為替換算調整勘定	△1,609	△406
その他の包括利益累計額合計	△926	1,535
少数株主持分	470	488
純資産合計	44,461	48,122
負債純資産合計	63,786	66,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月21日 至平成24年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月21日 至平成25年5月20日)
売上高	34,827	35,859
売上原価	23,835	25,362
売上総利益	10,992	10,496
販売費及び一般管理費	8,120	8,719
営業利益	2,871	1,777
営業外収益		
受取利息	17	21
受取配当金	17	20
持分法による投資利益	9	102
受取賃貸料	97	96
為替差益	—	460
その他	101	110
営業外収益合計	241	812
営業外費用		
支払利息	36	30
売上割引	212	199
為替差損	75	—
その他	61	91
営業外費用合計	386	321
経常利益	2,727	2,268
特別利益		
固定資産売却益	2	—
厚生年金基金代行返上益	3,348	—
投資有価証券売却益	—	32
特別利益合計	3,350	32
特別損失		
固定資産除却損	32	20
ゴルフ会員権評価損	0	0
特別損失合計	32	20
税金等調整前四半期純利益	6,045	2,280
法人税、住民税及び事業税	323	627
法人税等調整額	2,033	188
法人税等合計	2,357	815
少数株主損益調整前四半期純利益	3,687	1,464
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	45	△23
四半期純利益	3,641	1,487

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月21日 至平成24年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月21日 至平成25年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,687	1,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	838
繰延ヘッジ損益	162	420
為替換算調整勘定	377	1,191
持分法適用会社に対する持分相当額	66	125
その他の包括利益合計	468	2,576
四半期包括利益	4,156	4,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,087	3,949
少数株主に係る四半期包括利益	68	91

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月21日 至平成24年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月21日 至平成25年5月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,045	2,280
減価償却費	803	724
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△168	8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,265	△24
受取利息及び受取配当金	△34	△42
支払利息	36	30
持分法による投資損益 (△は益)	△9	△102
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△32
固定資産売却損益 (△は益)	△2	—
固定資産除却損	32	20
売上債権の増減額 (△は増加)	1,178	973
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,971	2,941
仕入債務の増減額 (△は減少)	△706	△1,458
未払費用の増減額 (△は減少)	△451	△422
その他	557	516
小計	5,988	5,405
利息及び配当金の受取額	35	42
利息の支払額	△37	△30
法人税等の支払額	△1,029	△352
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,957	5,064
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△5	△479
投資有価証券の取得による支出	△210	△11
投資有価証券の売却及び償還による収入	200	107
有形固定資産の取得による支出	△688	△498
有形固定資産の売却による収入	5	—
無形固定資産の取得による支出	△59	△299
その他	△24	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△782	△1,200
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△65	△100
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△270	△304
少数株主への配当金の支払額	△36	△74
その他	△247	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△620	△612
現金及び現金同等物に係る換算差額	202	765
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,756	4,016
現金及び現金同等物の期首残高	10,864	11,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,620	15,481

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年5月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月21日 至 平成25年5月20日)

当社グループは、家庭用品等の製造、販売ならびに、これらの付随業務を営んでおりますが、家庭用品以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 所在地別実績

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年5月20日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	その他	合計
売上高						
外部顧客への売上高	27,598	5,154	2,073	34,827	—	34,827
所在地間の内部売上高 又は振替高	2,897	2,934	26	5,857	△5,857	—
計	30,495	8,088	2,100	40,684	△5,857	34,827
営業利益	1,725	1,026	99	2,850	20	2,871

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月21日 至 平成25年5月20日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	その他	合計
売上高						
外部顧客への売上高	26,892	6,509	2,457	35,859	—	35,859
所在地間の内部売上高 又は振替高	4,199	2,806	1	7,007	△7,007	—
計	31,092	9,316	2,458	42,867	△7,007	35,859
営業利益	971	996	82	2,049	△272	1,777

## (2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年5月20日)

	アジア	北米	欧州	中近東	その他	計
I 海外売上高(百万円)	5,736	2,029	89	243	39	8,139
II 連結売上高(百万円)						34,827
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.5	5.8	0.3	0.7	0.1	23.4

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月21日 至 平成25年5月20日)

	アジア	北米	欧州	中近東	その他	計
I 海外売上高(百万円)	6,835	2,430	67	192	43	9,570
II 連結売上高(百万円)						35,859
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.1	6.8	0.2	0.5	0.1	26.7

## (3) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは、家庭用品等の製造、販売ならびに、これらの付随業務を営んでおりますが、家庭用品以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント別の生産実績及び販売実績の記載は行っておりません。

なお、生産実績及び販売実績を製品区分別に記載すると以下のとおりであります。

## ①生産実績

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年5月20日)

製品区分	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
調理家電製品	16,023	1.1
リビング製品	4,509	32.0
生活家電製品	575	3.8
その他製品	98	△53.6
合計	21,206	5.8

- (注) 1. 金額は製造原価により表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月21日 至 平成25年5月20日)

製品区分	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
調理家電製品	17,122	6.9
リビング製品	4,282	△5.0
生活家電製品	580	0.8
その他製品	114	16.3
合計	22,099	4.2

- (注) 1. 金額は製造原価により表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当社グループは、原則として見込生産であります。

## ③販売実績

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月21日 至 平成24年5月20日)

製品区分	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
調理家電製品	26,709	5.6
リビング製品	6,319	9.1
生活家電製品	1,143	△18.8
その他製品	654	11.1
合計	34,827	5.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月21日 至 平成25年5月20日)

製品区分	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
調理家電製品	26,810	0.4
リビング製品	7,614	20.5
生活家電製品	1,063	△7.0
その他製品	370	△43.3
合計	35,859	3.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。